

様式 2 平成 23 年度墨田区立業平小学校 経営報告書

平成 24 年 3 月 13 日

<b>学校目標</b>	独学自修
<b>目指す学校像</b>	子どもの学びを大切に、確かな学力を育てる学校 歴史と新しさが共存する魅力ある学校 教職員が協働の姿勢で、組織的に指導・実践する学校 保護者・地域との連携を大切にする学校
<b>目指す子ども像</b>	進んで学ぶ子 やさしい子 元気な子
<b>目指す教師像</b>	教育に対する熱意と使命感をもつ教師 豊かな人間性と思いやりのある教師 子ども一人一人の良さや可能性を引き出す教師 責任感と協調性を有し、互いに高め合う教師

1 自己評価の結果

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価の観点	評価	分析コメント
<b>確かな学力の定着と向上</b>	個人学習プロフィールを基に、わかる授業・できる授業をつくる。	個別指導を重視しどの子にも基礎学力を身に付けさせるとともに、体力向上にも取り組む。	英語活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業を全学年で実施</li> <li>年間指導計画と資料の作成</li> </ul>	4	研究授業は担任主導の授業を行い、NT、留学生、学生等を T2 として活用することができ、授業に幅がでてきた。 年間 90 回、少人数で実施することが出来た。個人連絡カードで担任と支援員の連携は向上した。 全学級での取組にはならなかった。実施は出来たが、体力向上にはさらなる工夫が必要。
			学習相談日と放課後学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>週 3 回の放課後学習教室の実施と担任との連携</li> </ul>	4	
			体力向上月間を年 2 回設定する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 学級 1 運動に取り組む。</li> <li>体育朝会の充実</li> </ul>	2	
<b>豊かな心を育てる</b>	生命を大切に、人権を尊重する教育を進める。	あらゆる偏見差別をなくすために、全教育活動を通して差別をしない・許さない態度を育てる。	挨拶運動を重点課題として取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間 180 日の実施。</li> <li>自分から進んで挨拶をする。</li> </ul>	3	ほぼ毎日、教員と児童挨拶隊が玄関で実施した。進んで挨拶する子は低学年は多いが高学年が少ない。 生活指導朝会は学年毎に毎回情報を発信し、共通理解に役立てた。すぐに活用出来る内容の研修会が行えた。 低学年は交流が効果的であったが、高学年が難しい。なりちゃんルームを設置し、個別指導の充実に役立てることが出来た。
			生活指導朝会・生活指導研修会の充実・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通理解の場の設定と内容の工夫</li> <li>児童理解の研修の実施</li> </ul>	3	
			特別支援教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>さくら学級との交流</li> <li>特別な支援を必要とする児童への対応</li> </ul>	4	
<b>魅力ある教育活動</b>	学ぶこと楽しさや成就感を体得させ、自ら学ぶ意欲を育てる。	総合的な学習の時間等を活用して、学校や地域の実態に即した活動を行う。	環境月間を設定し環境教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコ意識の向上</li> </ul>	3	学校全体の取組で節電意識はかなり向上した。 電子黒板は全学年で活用することが出来ているが、ソフトの購入が課題。
			I C T 化に伴う情報機器を活用した授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット利用などパソコンの効果的な活用</li> </ul>	3	

			地域を生かした交流を行う。	・地域人材、外部人材の活用	3	土曜授業等で多くの人材の活用を行うことが出来た。 ボランティアの増員で今年度から全学年で読み聞かせを実施した。
--	--	--	---------------	---------------	---	--

**2 学校関係者評価の結果**

--

**3 第三者評価の結果（対象校(園)のみ記入）**

--

**4 具体的な改善策**

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域との連携を強化し、「朝のあいさつ運動」はさらに工夫をして継続する。</li> <li>・ 来年度も英語活動の研究授業を全学年で実施し、授業改善に取り組む。</li> <li>・ さくら学級（特別支援学級）と通常学級の交流と共同学習を強化する。</li> <li>・ 保護者との連携を強化するため、個人面談の回数を増やす。</li> <li>・ 算数の取り出し指導と放課後学習教室の実施で、個に応じた指導を強化する。</li> </ul> |
|---|

※ 表については、必要に応じて2ページ以上にわたるように加工する。